

(書式2)

## 学会参加報告書

提出日 2014年 9月 2日

学籍番号	14N0013	学系	スポーツ教育・コーチング
氏名	針谷 美智子		
学会等名（正式名称）	2014 East Asian Alliance of Sports Pedagogy Conference		
開催日程	2014年8月22日 ~ 2014年8月22日		
開催場所（国・都市名）	韓国・ソウル		
発表演題名	A Study on the master of "Ryohizakake-shindoh-ori"		
参加報告 ・項目別に具体的に記載する。	<p>&lt;学会の全体の印象&gt; 日本のスポーツ教育学会と違って、学校現場での実践・理論研究から大きくはなれた様々なテーマが発表された。 また、韓国の学生は英語が堪能であり、積極的に手を上げ、質問していることが印象的であった。</p> <p>&lt;自分の研究と関連した発表とその内容&gt; 小学校学習指導要領解説の鉄棒運動に例示されている両膝掛け振動下りの習得に焦点を当て、基礎学習と基本学習の学習過程を提示し、研究を行った。 その結果、6時間の授業を経て、達成率は75%となった。また、基礎学習として提示した「補助倒立」「ふとんほし振り」「後ろ振り下り」と両膝掛け振動下りの達成率に相関があることが明らかになった。 これらの結果から、両膝掛け振動下りは「逆さ感覚」「振動感覚」を含んだ基礎学習を行い、段階的に学習を行うことで技の習得につながることを検証された。 ※関連した発表内容は見つからなかった</p> <p>&lt;自身の発表への質問・コメント&gt; ・「両膝掛け振動下り」とは、どんな動きなのか。 ・この技を練習して、子どもたちは、コンテストや試合に出場するのか。 ・韓国の学校には、鉄棒が設置されておらず、マットや跳び箱の授業はおこなうものの、鉄棒はほとんどやることがない。日本の学校には、必ず鉄棒の授業があるのか。</p>		

※ 補助金を受けた学生はこの学会参加報告書を提出すること。  
提出期限は学会終了後2週間以内とする。